

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校 学校番号 8

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 (2) 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 (3) 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	◇1年学年会	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科の生徒は、成績重視で入学している割合が多くみられ、将来の目標や職業について深く考えていない割合も増加している。 生活文化科の生徒は、目標を持って入学している割合が増加してきており、進路について保護者と話し合いをしている割合も高い。 本校の教育方針に対して、多くの保護者から肯定的な評価をいただいている反面、学習指導や生徒指導等において改善を求める項目もあるので、きめの細かい指導を心がけていきたい。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇望ましい生活習慣を確立し、相手を思いやり、進んで奉仕する心を育て、地域社会に貢献できる知識と態度を身につける。 ◇家庭との連携を密にし、欠席や遅刻の防止を図る。 ◇課題に積極的に取り組み、自己の進路目標を具体化する。 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議、学年別会議等において生徒情報を共有した。 ・生徒指導部や教育相談係と連携して、生徒理解に努めた。 ・進路指導部や学科と連携して、進路目標の設定を促した。 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 出席状況の把握と保護者との連携 (2) 身だしなみやマナー等の継続的指導 (3) 進路目標設定に関わる諸行事の活用	(1) 欠席・遅刻・保健室利用状況 (2) 身だしなみ指導後の自己改善意識 (3) 進路目標を意識した系列・コース選択	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・安易な欠席や遅刻、身だしなみやマナー等について、その都度指導を行うよう努めた。 ・生徒情報を教員間で共有し、保護者との連絡を密にし、きめの細かい生徒観察を行った。 ・系列やコース選択の参考になる行事等を各分掌と連携して実施し、進路目標の確立を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生活習慣の確立に向けて継続的な指導ができたか。 ②生徒の情報を共有し、家庭との連携を密にできたか。 ③進路目標を設定するための、組織的な対応ができたか。 	<p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p>
11 成果・課題	<p>○担任のみならず、生徒指導部や教育相談係から生徒情報を収集し、学年別会議や職員会議において情報を共有するとともに、保護者との連絡を密にし、生徒理解に努めることができた。</p> <p>○進路指導部や学科と連携して進路研修会や進路ガイダンス等を実施し、進路目標の設定や、系列・コース選択におけるサポート体制の充実を図った。</p> <p>▲身だしなみや挨拶などの基本的なマナーやモラルが身につけていない生徒が多く、学校生活のあらゆる機会や場面を通して自覚させていく指導を継続していきたい。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・系列やコース選択を踏まえて、進路実現に向けた取り組みをさらに加速化させ、様々な角度からサポートする体制を整えていく。 ・学習面に対する取組を見つめ直し、系列やコースに即した学習体制を確立できるよう促していく。 ・望ましい生活習慣の確立を目指し、欠席や遅刻、身だしなみ、挨拶などについて、様々な機会をとらえて啓発していく。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年2月6日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻や欠席が多く、基本的な生活習慣の確立がされていない。 ・身だしなみや挨拶などの基本的なマナーやモラルが身につけていない生徒が多く、学校生活のあらゆる機会や場面を通して自覚させていく指導の継続が必要である。
